

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の組織改正に係る保安規定
変更認可申請に関する行政相談（6）

2. 日時：令和6年2月22日（木）13時00分～13時30分

3. 場所：原子力規制庁10階会議卓（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

真田主任安全審査官、本多主任安全審査官、上野管理官補佐、

篠田係長、水野係員、瀬尾係員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括本部 統括管理室 次長 他11名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 資料

資料1：原子力機構の組織改正に係る保安規定変更認可申請について

資料2：原子力機構の組織改正について

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	しかし、
0:00:03	それでは定刻になりましたので本日の行政相談等を開始したいと思います。本日の行政相談としては前回、組織改正の概要ということで資料。
0:00:13	を作成いただきたいということをお願いしまして、その紙に基づいて作成いただいた資料についてご説明いただくということになっております。はい。
0:00:21	それでは時間で、
0:00:25	言いかなくて、何か改めて説明しておかないといけないところってありますか。ちょっと田岡委員。はい。現職の伊藤でございます。
0:00:38	前回の行政相談に約束したところで、パワーポイントです。わかりやすく資料ですね各テーマ 110 分ということで、
0:00:49	この概要資料を開いてます。それ、基本的にはこの概要資料の方、ただ表現をですね簡潔にして、あと細かいところは、全体の、この二つの全体を見るという表現。
0:01:02	んしょ。あとは可能な限り、いろいろ。それから、成果情報としては最高研究開発的に社長に設置しますし、それから最高。
0:01:14	それと安全責任者も透析以外もあるということで、その辺は拡充してあること。それから、記述に関してうまく振り回しましたというところは審議官。
0:01:29	今日ご説明しますと、表紙の次の 1 ページ目は今後、前回の最後のところで、やっぱりその背景ですとか、なぜ、なぜこれをやるのかっていうところがやっぱりこれまでの資料でちょっとわかりにくいと。
0:01:43	明確じゃないところがありましたので等簡潔に 2 ページ目にまとめてございます。
0:01:57	ここビジョンやな、何に位置付けられて、もう出てるんですか、ちょっとこれはですね、頭抜く令和×ニューマネージャ、蒲池明石の我々ですね、新しい
0:02:11	言われておまして、
0:02:13	このレッションを受けていくことで聞こえません。6 ページの一番近いところにも考えて我々の言うことです。
0:02:23	出していただいています。
0:02:25	今の中長期計画とか断念から何年なんですか。今の年齢が 2 年目の間、中長期は 7 年ですので、402 年がもうすぐ終わるんだともう 5 年。
0:02:42	ビジョンはいつ出すか、ちょっと確認ですね。はい。
0:02:48	何を受けておったんですか。
0:02:50	特になしでその、
0:02:53	中長期計画でもこれが位置付けられてるっていうわけではないですね明確にこの単語が入ってございませんけども、新しい中長期計画、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:04	中で、あと我々体制もですね、理事長以下体制も新しくなって、政党滑り出したというかスタートしたところで、現状の当機構の状況等を受け、
0:03:18	去年の4月が2年目になりますけども、ここで改めて、こういったスローガンというものをきっちり定めて、それに合わせていろんな、
0:03:30	何だというのは、今回やろうとしてる組織改正もそうですけども、このこのビジョンを達成するために、こういうような、
0:03:39	改善ですかね、見直しかけにくい。
0:03:43	ごめんなさい。はい。はい。
0:03:56	だから系統次の3ページがずっといわゆる研究開発部を廃止して、拠点長が執行のみならず、いわゆる執行管理責任、
0:04:07	教頭を業務の執行管理の説明のところを話したので、こういったそうですねと社内的に、案としては以上でした。この本。
0:04:21	音声で、おしかりいただけるかなと。
0:04:25	もうちょっと領域の説明も少しかからないんじゃないんですけども、また広域性出てきますけども、
0:04:32	部門が消え研究所を管理するというような体制から、研究所がそういったみずからのそのように領域は経営的立場から
0:04:41	研究、方向性をですね、戦略の方向性を示すか、そういった関係に変わるべき。
0:04:46	容器案を、いわゆる経営が渡ってきておけばいいんですよね。もう少しあります。すみません、この上のオレンジ色の問題です。
0:04:57	単品とあれなんですか。
0:05:03	今まで部門と研究助成で部門が経営と管理をこうやったじゃないですか。そうですねその経営と、管理切り分けましたっけ。
0:05:13	領域っていうのは端的には部門なんだけどそれは切り分け方を変えた。
0:05:19	くらのイメージでいいんですかね。部門は管理を担う会議になっている部門の傘下に研究所って管理もやってる領域は3課に検討じゃない。そうです。はい。
0:05:32	完全切り分けに分けたという風に切り分けて、今までだったら研究活動にこう、何か複数あったんだけど三つに集約してるからそうなんつうかな、切り分け方を変えた方も前からもう少し利益メニューを決めるっていうことです。広野佐治効果とかそういうのも有効にいける。
0:05:52	家族も管理はやめて、本当経営経営的なその戦略を示すものに特化する。
0:06:02	それから、続きまして、階層構造計画で、この所までに部門がなくなるってのはもう一つ、7階とあるんですけども、その下側につきましても、この左側の現行絡みがあるということで、イメージ井口としてはですね、センター、
0:06:18	ないしはと組む。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:21	削減して、
0:06:23	こっち小さくして、
0:06:26	小さくというかその階層ですね、階層を減らしていくという、そういったところで圧倒 拠点の新しいシステム。
0:06:37	それから、もう一つの二つ目のぼⅡはこれまでちょっとはっきりはイメージしてこな かったんですけども、削減するだけではなくてその縦割り解消とか業務効率化を 目的として組織の統廃合をまわして、だから、単純にセンターだけなくなって分と かそのまま全く温存っていうわけではなくて、
0:06:57	センター間をなくしたことによって、2グループ分の所の人がすぐになりますから、 現状の分のままでいいかどうか。
0:07:04	そういうような観点から部門統廃合する、その下の下部等があります。統廃合に あたっては書いてありますように、立岩李の改修とか、どっちかっていうところ。
0:07:16	スポンを広げてきて、やはりそのあたりで、細かくなれないという方向では、
0:07:24	思う。
0:07:25	ディビジョンと他のやつは、右と左、右側の図基準は何なんですか。
0:07:33	あとは、江藤センターを残して、部レベルを削減する、階層としては1個減らすん ですね深井総合このBoore0を減らすところもあると。
0:07:44	すいません。具体的に言うと、これは按分はこの後、
0:07:49	安保はこちらの形と聞いてます。
0:07:57	いっばいか、はいわかりました、わかりましたそれは、こういったいわゆる保管理 組織中心の拠点と、やっぱりその研究してる部門でやっぱり考え方、その統 合の仕方っていうのはそれぞれ、
0:08:12	監督側で、会長減らし、職場の統廃合っていう観点では、方向性は同じです。
0:08:21	それから1次はですね、いわゆる藤良一の話です。2ページ前に向けて二つの一 部が拡大されてますけども、これが
0:08:34	合計の三つの潮流領域を使って、研究所を管理している内訳なことで、
0:08:42	そっか。井関和気。
0:08:44	以下、ご説明してございます。
0:08:47	温泉国旗請求、ごめんなさい。ごめんなさい。これは次のページです。これはあれ ですね、これは、すいません安全、安全、最高安全セキュリティ責任者等、最高を 建築責任者。
0:09:02	本間理事長の横にですね、与儀温泉が出ています。これを終えておきますという ことで、一つ目のポツに書いてありますが、これまですいません最高安全核セキュ リティ責任者点ですけども、ここは機構内で議論が進みまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:18	2行目にありませんで安全それから核セキュリティ課長と千野栗本清両管理含めますから情報セキュリティ経済安全保障。こういったですね、機構の包括的な安全とかセキュリティに係る、
0:09:30	理事長への助言ということで名称もですね各は取りました。浅井公安主席責任者という名称に諮問しましたけども発生リスクあります通り、安全と核セキュリティ保障措置計量管理いわゆるSSSです。SBSについては、
0:09:46	この安全最最高安全セキュリティ責任者の補佐する範囲を一部年一部で拡大大分なんですけども、そして理事長によるSSSのトップマネジメントを強化する役割を担うという位置付けにしてございます。オペレート保安規定、PP景気予感1には位置付けないと。
0:10:04	執着して、この前から説明してきたと。
0:10:08	支援への経済安全保障点は何なんですか。
0:10:15	新型炉ができて何かノウハウとかそういうことですかね。
0:10:24	原子力自身が、へえ。
0:10:28	他の
0:10:31	後藤野瀬さん。
0:10:35	それから二つ目のことは最高研究会責任者ですね、こちらについては研究開発戦略機能の強化ということで、
0:10:46	研究会戦略に関する理事長の状況。
0:10:49	これらはですね、機構の規則は理事長の数ですね、理事長が設置するということで地域の方は検討します。
0:11:00	これはリートは併任するんですが責任者は最高安全セキュリティ責任者、最高研究責任者は、
0:11:08	Hだろう。今の案では、理事または理事または衛藤執行役、研究員、上級うーん。
0:11:18	山田理事ないしは理事クラス、C、これなので、その0の領域あるじゃないですか。はい。領域は、その理事があります。パントリーの組み合わせで最高安全責任者とか最高研究早瀬責任者が併任することもあるんですけど。
0:11:39	ということではなくて、内海領域長が新責任者も火薬をやるっていうような、
0:11:45	こう詰まってんですか。
0:11:47	決まってないと思いますけども、これ、すいませんそういう分散でられたら補足できますか。
0:12:01	あ、
0:12:02	はい。下原子力総務部の常松と申します。
0:12:09	今の考え方ではですね、安全セキュリティ責任者の方は役員がなるであろう、最高研究開発責任者の方は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:21	役員には限定はしておらず、外からの有識者等も含めて対象にできるようにちょっと考えてございまして、
0:12:32	そういう意味では併任の場合もあり得る。ただ、研究開発の方については、その外部の者も含めて、今想定してるという状況でございます。はい。有吉委員。
0:12:47	はい。
0:12:56	すいません。先ほど失礼しました。病気ですね、この三つの料率を設置すると、病院と、拠点の関係は先ほどお示した通りですがどのような密粒ができるかというところで、
0:13:10	ここに示してございまして、エネルギー研究科続き研究開発力強化ルーティンワークによる各回括弧で案を、少し具体的に、
0:13:20	主な点は書いてますけども、こういった領域が事業戦略とか、これらに関する経営方針を示していくといったところでございます。
0:13:53	これ、TSO、
0:13:55	どこに入ってくるんですか。
0:13:57	ミズノページには置いてますけどもこの一番左側の左側のいわゆる基準執行組織の下の研修完全防災研究所ここになります。
0:14:10	これ1ページ、次のページ、1枚をさせていただきます。領域の間、領域との関係は、
0:14:19	そういう意味では、いわゆる安全、いわゆる原子炉の安全研究をやるので、安全研究のテーマあって、体験が当たっていて、核燃料サイクルに関するところもあれば、一つは大丈夫とか、そういうところもありますし。
0:14:34	拝察に絡むところもあるので、そういう意味では領域がこの三つの領域が定める方向性等はリンクというんですかね、関連はするなと思います。
0:14:47	はい。
0:14:49	次のページは藤CSOのところですね、今家主催する現状の名称になってます安全研究防災専門の会社についてということで、
0:15:00	この分をここにつきましたはちょっと他の拠点、物理的な拠点がなくて、ここはあくまでも研究所であって、研究組織であって、物準拠点は原価県にあるとかやったりするんですけども。
0:15:13	この部門はこの部門が、原子力安全防災研究所と、一応こういう名称で今以降でこういった研究に書いてあります。今あるやった安全研究センターとか、
0:15:25	原子力緊急時支援研修センターってのはこの原則安全防災研究所に遮断され、我々の部門が変わるっていう感じ。
0:15:38	これは次の説明にあります通りですね、TSOとしての機能を有する組織として、実効性から中立性透明性を確保しつつ業務を実施するといったことをいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:51	三つの領域の関係は他の拠点と同様、委員をさせていただきました。
0:15:59	藤野先生、もう、この安全県地方で支援。
0:16:03	防災研究所ですか、さっきなんか担当理事はここは残るみたいな顔したような気がするんですけど、すごくそれでいいんでしょう。西出もそこで検討してるようなことは、半田寺川が聞いたので、そう、そういうような、
0:16:22	多分検討中だと思います。すみません。それもうそ総務部なんかいえることありますか。
0:16:29	すみません。
0:16:32	はい総務部の常松です。はい。原子力安全防災研究所につきましては担当理事を置く方向で検討しているところでございます。
0:16:43	どうも省略をしました。
0:16:56	県原子力安全防災研究所理事、
0:17:03	今までの説明と性、
0:17:06	整合しなくて、どう理解すればいいですかね。今まではその経営等、
0:17:11	執行分けると理事は経営側に回るってことなんだけど、原子力安全防災研究所については理事も、
0:17:19	執行側に回ってみると理解すればいいんですけど。
0:17:28	どうぞ。
0:17:31	総務部末松です。従来今でも理事については、執行ではなくて理系の方ですのでその関係性は従来から変わらないというふうに考えています。
0:17:47	原子力安全防災研究所どうなんですか。
0:17:52	防災研究所についても執行する側の研究所を経営側から担当理事がマネジメントするという関係性。
0:18:04	あそこは、はい。やっぱりおっしゃってください。
0:18:12	はい。
0:18:16	5 ページが、一番の保安stage特化したところでちょっといろんなところということで、CAMSの管理責任者の件でございます。管理責任者につきましては、
0:18:28	これまでとご説明した通りで、各拠点担当理事が、各県、
0:18:34	拠点の
0:18:37	使われる等、保安業務を通りして、経営ミズノ管理責任者いうところですけども、その代わり責任制を機構で一元化します。
0:18:46	本部のですね、安楽本部等々にですね、すべてその安全核セキュリティとか総務担当一覧になると。
0:18:55	ということでアンケート安全核セキュリティ統括本部担当理事はですね、従来この変更前に、左側ですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:05	安全核セキュリティ統括本部長にない安全確認、統括本部の業務、ここまでが従来に加えてが右側ですね。
0:19:14	すべての拠点の原則別の保安に係る業務を統一するといったところで、ここ左側の青いところがなくなって研究担当理事がなくなってこの右側ですね。
0:19:27	別途安全核セキュリティ統括部長は、この(2)ですね、担当理事がになってそれが丸々研究これからその保安規定ごとにここは変わるわけですね、計画の立てた原価権を書く。
0:19:42	当該保安規定の研究所及び本部の管理者木下荻田線からします。
0:19:51	規制庁の内堀君ですね、あそこは拠点ごとに、確か保安に係る組織みたいなのところで、はい、はい、今田と所長がいて確か契約部長であるとか、
0:20:03	グループ長課長みたいな。そこで、拠点によって多分センターとかも載っててそこはそれを落とすような変更もあり得るっていう認識をよろしく願いいたしました。
0:20:14	向後加来のページの下にというか、各拠点ごとにそのセンターなくして、部とか講堂等を配布するといったそのセンターとか現状に合わせて、
0:20:25	確率ではないので、拠点ごとのこの説明ってのは今後ですね、させていただくということでございます。全体の考え方でとらえてですね
0:20:39	階層の削減と統廃合っていうところか、基本的な考え方はどうですか。すみません。最後のスケジュールなんです。ちょっと今まで3月上旬申請、6月上旬以下を跨るように出したいと。
0:20:53	こういってところなんでそれがちょっと現現状ですね、なかなか調整中と、ちょっと拠点によってはなかなか準備がですね、結構来正直厳しいというところがあって、
0:21:08	ちょっと説明調整がでございます。申し訳ございませんけども、させていただきました。保安管理組織以外の組織改正は申し上げてる通りで、4月1日、これ再興案2責任者も見まして、
0:21:26	保安規定、
0:21:28	それから告示法を規定してる感じですよ。はい。認可をいただく諸規程ん。
0:21:34	絡まないフォローは8月1日の回収を目指しております。
0:21:43	ここは結構重要だったんですけど。
0:21:46	いつ、
0:21:48	申請の調整してるってのは了解なんですけどその年度3月中に出るとかそういうスケジュール感なんですけどそれも白紙なんですかね。
0:21:59	つまり
0:22:01	3月初旬ついてなんだけど、ちょっと遅れて、別紙が遅れちゃうもんだからその4月も少しずれるかもしれないっていうスケジュール感なのか博士なのかっていうの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	が知りたかったんですけどそこはどうなんですか。もう何かもちろん博士ではなくて実際にもう作業も各県系
0:22:21	で始めているんで、全然博士とかそういうあれではないんですけども、作業中って感じていいんですかね作業は始まって、はい。
0:22:34	だから3月初旬で行ったんだけどちょっと
0:22:38	調整。
0:22:40	いや、
0:22:41	調整っていうのはさ、心何の調整せ、その申請。
0:22:46	拠点によってはまだちょっと
0:22:49	申請書ができない。そう。少々以下の、
0:22:54	当センターを廃止して、部とかをなんですね統廃合してくっていうの考えを規定は何々課長が何々。
0:23:04	そこは効果を、全体額だけだったら多分そんなに難しくないんでしょうけど、結局そういうところで、この業務はこっちの下に来る。そうすると、
0:23:16	栗田唐木君言ってたからこっちから課長に変えるだけでは済まなかった試験でその上で、その医療スタッフも適切に考えないと、要は、
0:23:26	人数と業務量が合っていないと、結局、要は会議改善が解約になったです。それはそれ逆算やっちゃいけないことなので、そういったところを調整しながら、組織を決めて、
0:23:41	保安規定に落とし込んでというのがやっぱりこの福住さん、中条。
0:23:46	現実的には、そういうところもあってちょっとなかなかしゃべれば、
0:23:51	そう。
0:23:53	ちょっと時間を要しているところがあるというのが現状で、今時点では、3、
0:23:58	上旬は難しいけど3月中っていうのもちょっと、佐瀬現状では言い切れない。その最初の4ページぐらいで業務公開をするって言ったじゃない。それって部署も統廃合するんですけど、今橋田さんも、
0:24:13	ありますそういうことですね。はい。それで業務移管どうするかとかいう調整も入ってるからちょっと。
0:24:22	それは今回、
0:24:25	地下鉄を頻繁にやろうというのはこれまでやってきた中で、やっぱりこのカバーを開けた方がいいとか言葉一緒じゃないと、要は、
0:24:35	中身が出てるんですね、できててやりにくいとか、それからあとはそのオオツカ業務が、プロジェクトが進んで、例えば、この施設は磯知なんて排出経営企画課でこっちを見て、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:48	新規性運転いんなきっかけとそういったところの業務の中身も変わってきますから、そういうのもあったりとか、そういうのは適切に直していくっていうのも多分含まれると思うんですね。
0:24:59	そういう意味ではなんちゅうんですけれどもなんていうか、ページの縦割り解消とか業務効率化を図る支援はし、そういうところに、
0:25:10	我々、この人たちが
0:25:14	なお、ここには全部効率化ってありますけども我々の言葉で言うと、この安全の強化。
0:25:20	こういうところにつなげる話をしたいというふうに思ってますので、4月くらいには出てくるんですかね。それくらいで見ておけばいいのか。
0:25:29	が、
0:25:30	ちょっと教えてなかったんですけど、いやもう7月とか8月とかになっちゃいますとか、暗いという話そういう話ではそういう話じゃないですよ。拠点ごとに佃支店の淡路です。
0:25:42	変わります。もうもう全然夏とかそういうレベルレベルじゃないですよ。7月に認可したいっていうのはその人事異動とかそういう関係でいいんですよっていう、つまりその4月か5月通で、何て言うんすかね。
0:25:57	秋くらいまでに認可すればいいとかそういうスケジュール感じゃないですよ。我々としては
0:26:06	検査の米は4.1なんですよ。ただ4.一井では、新規申請自体はもう11月、10月にしないと、どうしてもぎりぎりなので、そこは、こういった状況に基づく許認可ってある。
0:26:19	これはご理解いただいた上で、サポータティブで、できるだけ早く行ったところで、
0:26:27	ナース組織改正の方針決定が今日として決定されたタイミングから見て、そこから一生懸命進めて申請して、
0:26:37	7月ぐらいが詰める元ん。
0:26:41	最短かなというところを引いて、ちょっと頑張ってみたんですけど、ちょっと想像の現場の。
0:26:53	変更。
0:26:57	時間で終わります。
0:27:01	やはり、
0:27:03	今のこの本部組織の中ですと小熊に直接ぶら下がってる企画室みたいなのところがあります。あれって領域等拠点がどっちに行くんでしょうか。
0:27:14	別に方針というか、だけでいいんですよけれども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:17	経営企画部。はい。計画外については食う等は、各部門の部門のヘッドクォーターっていうんすかね。部門の企画調整部門に企画調整室っていうなりまして、
0:27:33	多分、この副長先生、今野局長は結構、いわゆる当部門としての方針を出す仕事とあとは、実際に部門は管理をしなきゃいけないので、その両方あるので、多分それって分かれるんじゃないかなと思うんですけども。
0:27:48	管理的な意味での調整したら多分、各拠点、
0:27:53	各町の企画調整機能の部署ができると思いますので基本的はそのらの方に、
0:27:58	ということになります。わかりました。それからもう時間ないですけど、こちらの概要資料の方で、今言った形で、
0:28:08	例えば最初の恒設のところはちょっと確認しました。こちらよりもっと確認してありますので、ご覧ください。それから、ちょっと再考安否確認、職員さんの話、先の話もこちらの方のご質問でございます。
0:28:26	各部運用の番号が間違ったところもありますので、ありがとうございました。
0:28:34	終わりましたでしょうか、本日の行政相談はご認定終了したいと思います。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。